

**令和５年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

令和５年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は６年生で、国語、算数の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

| 教 科 | 全国平均<br>正 答 率 | 下 回 っ て<br>い る | やや下回<br>っている | ほぼ同じ | やや上回<br>っている | 上 回 っ て<br>い る |
|-----|---------------|----------------|--------------|------|--------------|----------------|
| 国語  | ６７．２％         |                |              | ○    |              |                |
| 算数  | ６２．５％         |                |              |      |              | ○              |

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領 域             | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|-----------------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 71.2%   |        |          |      |          | ○      |
| 情報の扱い方に関する事項    | 63.4%   | ○      |          |      |          |        |
| 話すこと・聞くこと       | 72.6%   | ○      |          |      |          |        |
| 書くこと            | 26.7%   |        |          |      |          | ○      |
| 読むこと            | 71.2%   |        |          |      |          | ○      |

【考 察】

- 漢字を文中で正しく使う問題や中心となる語句や文を見付けて要約する問題、原因と結果の関係を捉える問題が全国平均を上回りました。これまでの漢字コンクールなどの取組や、読書活動の推奨などが成果として表れたと考えられます。
- 自分が聞きたいことの中心を捉えるインタビューの仕方についての問題が、全国平均を下回りました。今後は、分からない点や確かめたいことを質問しながら聞いたり、話し手の考えと比較して共通点や相違点を整理させたりしながら、話したり聞いたりする力を身に付けさせていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領 域    | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|--------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 数と計算   | 67.3%   |        |          |      |          | ○      |
| 図 形    | 48.2%   |        |          |      |          | ○      |
| 変化と関係  | 70.9%   | ○      |          |      |          |        |
| データの活用 | 65.5%   |        |          | ○    |          |        |

【考 察】

- 「図形」の領域が全国や県と比べて特に良くできていました。中でも、高さが等しい2つの三角形の面積の大小を判断し、その理由を記述する問題が全国の正答率を大きく上回りました。その他の領域でも全体的に記述式の問題の正答率が高く、これまでの学習で、問題を正しく解くだけでなく、解決の過程についてしっかり話し合うことを重視してきた成果です。
- 「変化と関係」の領域では、比例の関係や百分率で表された割合の問題で、全国平均を下回りました。理解が不十分であった領域については、基本の問題に再度取り組ませることで定着を図っていきます。